

学長定例記者会見要項

日 時： 2019年5月9日（木） 11：00～11：45

場 所： 法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟4階）

発表事項

1. 農学部が農業女子プロジェクト チーム”はぐくみ”に参加
～ 地域がはぐくむ未来の農業女子PJがスタートします ～
2. 山形大学海外拠点を活用したグローバル化の推進について
3. 創造都市やまがた誕生までの120年を振り返る特別展を開催します
4. 学生の活動紹介：山形からカンボジアへ届けたいこと
～農村部の子どもたちへ、IVY youthの算数教育支援～

お知らせ

1. 公開講座「冷戦の縁^{ふち}：時代と空間の区分を考える」の受講生を募集
2. 「スライムマイスター養成講座（初級）」を開催
～スライムの楽しさを子どもたちに教えませんか～

（参 考）

○ 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：2019年5月23日（木） 11：00～11：45

場 所：法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟4階）

学長定例記者会見（5月9日）発表者

1. 農学部が農業女子プロジェクト チーム”はぐくみ”に参加 ～ 地域がはぐくむ未来の農業女子PJがスタートします ～

学術研究院 教授（農学部担当）	おざわ 小沢	わたる 瓦
農業女子プロジェクトメンバー		
鶴岡市 井上農場	いのうえ 井上	なつ 夏
米沢市 野菜農園 笑伝（EDEN）	わがつま 我妻	あすか 飛鳥

2. 山形大学海外拠点を活用したグローバル化の推進について

理事・副学長	やすだ 安田	ひろのり 弘法
--------	-----------	------------

3. 創造都市やまがた誕生までの120年を振り返る特別展を開催します

学術研究院准教授（博物館学）／附属博物館学芸研究員	さとう 佐藤	こと 琴
---------------------------	-----------	---------

4. 学生の活動紹介：山形からカンボジアへ届けたいこと ～農村部の子どもたちへ、IVY youthの算数教育支援～

人文社会科学部 3年	たちばな 橘	みさき 美咲
------------	-----------	-----------

令和元年（2019年）5月9日

農学部が農業女子プロジェクト チーム”はぐくみ”に参加 ～地域がはぐくむ未来の農業女子PJがスタートします～

【本件のポイント】

- 農学部学生の半数を占める女子学生に農業の魅力を伝え、農業を志す学生の発掘や動機付け、意識向上のための取り組みを行います。
- 講義、実習、研修などを連携して行い、農業女子プロジェクトメンバーにとっても学びの場やスキルアップの機会となるようにします。
- チーム”はぐくみ”への加入は東北初、国立大学初です。



【概要】

3月29日、農学部は農林水産省が推進する農業女子プロジェクト(※)の取組のひとつで、未来の農業女子を育成する「チーム”はぐくみ”」にパートナー校として参加しました。チーム”はぐくみ”への参加は東北で初、国立大学で初となります。

農業は、その労働力の半数近くが女性であるにもかかわらず、農業経営者や組織役員は女性が極端に少ないのが現状です。また、若者の農業就業が少ないことも大きな課題となっています。山形大学では、農村地域に位置する農学部という利点を活かし、これまでも地域定住農業者育成事業など農業に就く若者の支援に取り組んできましたが、このたび新たに、女子学生に農業の魅力を伝え、農業を志す学生の発掘や動機付け、意識向上に向けた取り組みをスタートしました。講義やインターンシップ、実習、研修など農業女子プロジェクトメンバーを中心に設立された「やまがた農業女子ネットワーク」と連携することで、学生の職業選択肢に農業を加えられるように、そして農業女子にとっても、学びの場やスキルアップの機会となるような取り組みを推進してまいります。

【背景】

- ・やまがた農業女子ネットワークが2月15日に設立され、35名が加入し、学ぶ場、連携を求めています。
- ・農学部の学生はほぼ半数が女性です。
- ・農業労働力の半数近くが女性であるのに、農業経営者や組織役員は女性が極端に少ないのが現状です。
- ・若者の農業就業が少なく、今後、農業・農村を維持することも難しくなります。

【取り組み内容】

講義、実習、研修、意見交換などの交流・連携を深めていきます。

- ①農業女子プロジェクトメンバーを招いての学生への講義の実施
- ②メンバーのもとで学生が体験農業実習等・販売研修の実施
- ③メンバーの農場に学生が訪問して意見交換の実施など

既に、4月16日に農学部において「山形大学農学部×やまがた農業女子ネットワーク」と題して、学生23名、農業女子12名が参加し、この連携に対しての両者の期待を伝え合い、その後数人ずつのグループに分かれてワークショップ「あなたの夢を教えてください」を行いました。参加学生からは、「進路の選択肢の一つに農業も加わる機会になった」、「農業女子の方々の生の声を聞くことができ、今までの固定観念や先入観が一新された」、「他の学生や農業女子の方々が農業のこれからについて考えていて、自分の将来もより詳しく考えたいと思った」などの多くの前向きな感想、また農業女子からは「学生さん達がそれぞれしっかりした考えを持っていて、農業の先は明るい！と思った」、「学生さんの考え方がしっかりしていて大変頼もしく思った」など多くの感想のほか、次の開催を期待する声もありました。

お問い合わせ

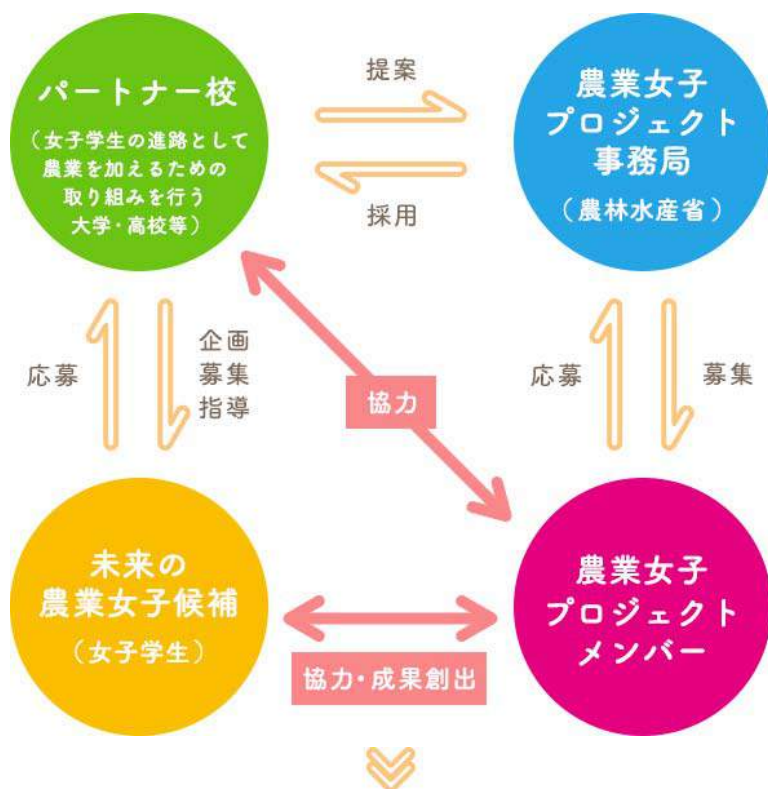
学術研究院 教授 小沢互（農学部担当）・准教授 藤科智海（農学部担当）

TEL 0235-28-2944 メール wo1995@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

※農業女子プロジェクト

「農業女子プロジェクト」は、女性農業者が日々の生活や仕事、自然との関わりの中で培った知恵を様々な企業の技術・ノウハウ・アイデアなどと結びつけ、新たな商品やサービス、情報を創造し、社会に広く発信していくためのプロジェクトです。参加する農業女子は全国で750名を超え、参画企業は34社を数えます。

農業女子プロジェクトのミッションのひとつである「若い女性の職業選択肢に『農業』を加える」ことを実現していくため、学生×教育機関×農業女子による「チーム“はぐくみ”」を結成し、高校・大学等の教育機関によるプログラムと、活躍する農業女子の魅力を結びつけ、農業を志す学生の発掘や動機づけ、意識の向上などに取り組んでいます。



出典： https://nouyoujoshi.maff.go.jp/team_hagukumi/

詳しくは、農業女子のサイト (<https://nouyoujoshi.maff.go.jp/>) をご覧ください。

山形大学 は 目標（夢）の実現に向け

農業女子プロジェクト チーム“はぐくみ”に参加しました

別添資料



山形大学
Yamagata University

農業を職業の選択肢として考える

きっかけをつくり

農業による地域振興につなげていきます

山形大学農学部は、農業を志す女子学生の発掘、就農意欲の向上及び農業技術の習得を図り、女性農業者の育成を図るとともに、農業女子プロジェクトメンバーと連携するなどし、下記に取り組みます。

- ①農業女子プロジェクトメンバー等による学生への講義の実施
（勉強会や学生とのワークショップの開催）
- ②農業女子プロジェクトメンバー等の圃場における体験実習
（インターンシップや農作業体験、意見交換等）
- ③農業女子プロジェクトメンバー、山形大学学生とコラボした取組
（マルシェへの参加、作業着等の開発等）



ワークショップで交流しました！

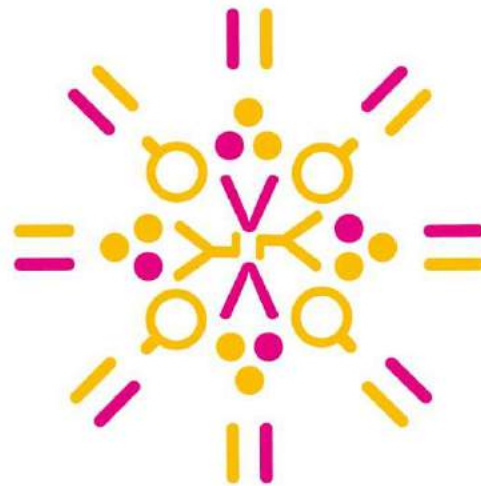


参加者で記念撮影を行いました。今後の連携が楽しみです！

平成 31 年4月 16 日、山形大学農学部において、チーム“はぐくみ” 加入に向けてのプレゼンテーションを開催しました。プレゼンテーションには、山形大学農学部の学生 23 名と、平成 31 年 2 月に設立された「やまがた農業女子ネットワーク」のメンバー 12 名が出席し、山形大学とやまがた農業女子ネットワークが目指す目標について発表が行われました。また、学生とネットワークメンバーによるワークショップでは、学生が抱く夢や目標、農業のイメージに対して、現場で活躍する女性農業者が生の声を伝え、積極的にアドバイスをする姿がありました。

これからの農業の担い手を育成するため、農業女子プロジェクトメンバーの皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

農業女子プロジェクトについて



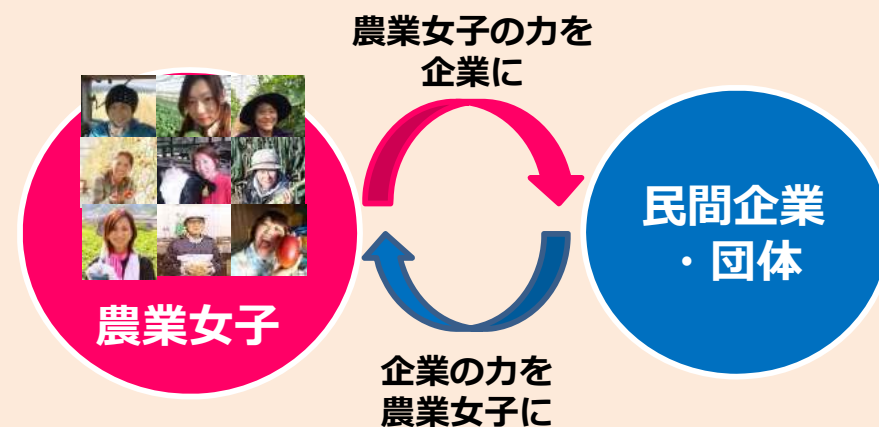
農業女子PJ

農林水産省

「農業女子プロジェクト」について ～概要～

「農業女子プロジェクト」は、女性農業者が日々の生活や仕事、自然との関わりの中で培った知恵を様々な企業の技術・ノウハウ・アイデアなどと結びつけ、新たな商品やサービス、情報を創造し、社会に広く発信していくためのプロジェクトです。

このプロジェクトを通して、農業内外の多様な企業・団体と連携し、農業で活躍する女性の姿を様々な切り口から情報発信することにより、社会全体での女性農業者の存在感を高め、併せて職業としての農業を選択する若手女性の増加を図ります。



企業コラボプロジェクトの推進

- プロジェクトの趣旨に賛同した企業と女性農業者が協同で、**新たな商品やサービス、情報開発**を行い、新市場開発や市場拡大を目指す。（それぞれの企業活動の一環として推進。）
- 企業とのコラボレーションで発揮されるのは、生産者であり生活者・消費者である農業女子の着眼点、発想力、創造力。

- ① **社会、農業界での女性農業者の存在感を高める**
- ② **女性農業者自らの意識の改革、経営力の発展を促す**
- ③ **若い女性の職業の選択肢に「農業」を加える**

DATA（平成31年4月現在）

○農業女子：759名

○参画企業：34企業

○教育機関：7校

広く社会に発信

農業女子の存在感を高める、経営力の向上、若い女性の職業の選択肢に「農業」を加える

「農業女子プロジェクト」の情報発信

①公式Facebook

- プロジェクトの活動報告、農業女子のコラムなどを週2～3回発信。



②公式ホームページ

- 農水省の事務局、参画企業、教育機関、農業女子メンバーが随時発信。



農業女子プロジェクト参画企業・教育機関



農業女子PJ



<チーム“はぐくみ”>

アイアグリ(株)

農家のみなさんに
届け！PJ Stage2

井関農機(株)

夢ある“農業女子”
応援PJ

(株)エイチ・アイ・エス

農業女子PJ
地域のためのプログラム
～SDGsの視点から～

(株)NTTドコモ

農業ICTをもっと身近
に感じてもらう！

(株)温泉道場

農女プロデュース替わり風呂PJ、
梅ラボ梅干し限定販売PJ

桜美林大学

農業女子という
未来型ライフスタイル

カネコ総業(株)

明るい農業応援！
Farm tools PJ

キューピー(株)

あいち みんなのサラダ

(株)コーセー

農業女子Beauty
Vol.4 PJ

コンビ(株)
コンビウィズ(株)

「おいしい！」を未来まで
つなげようPJ

(株)サカタのタネ

Happy-ベジタブルで「新野菜」
の需要創造PJ

蒲田女子高等学校

農業からはばたけ！
チャレンジ&応援PJ

(株)しまむら

農業女子のまいにち服

シャープ(株)

農業女子の
旬の野菜を盛り上げよう

城北信用金庫

「作る」から「創る」へ！
ビジネス&ライフ応援PJ

(株)精工

女子力でブランド力と
経営力を向上！

象印マホービン(株)

農業女子 in ライスマイルプロ
ジェクト ごはん会議

近畿大学

近大流農業女子育成PJ

ダイハツ工業(株)

ダイハツ×農業女子マルシェ
全国展開！PJ

(株)タニタ

ご当地タニタごはんコンテスト
を通じて農業女子と
健康まちおこし！PJ

大日本印刷(株)

農業女子の未来の
あたりまえをつくるPJ

(株)近正

農作業を快適に！！
農業女子サポート PJ

(株)東邦

汚れも悩みもスッキリ！
農業をもっと楽しく！PJ

産業能率大学

農(みのり)の絆PJ
2018

(株)東洋ハウジング

農業女子とかがえる
住まいのミライPJ

(株)東和コーポレーション

はたらく笑顔
総生産向上プロジェクト

豊島(株)

農業女子的
ファッション改革PJ

(株)バンダイナムコ
アミューズメント

『農業×エンター
テイメント』創出PJ

日本農薬(株)

明日の農業女子を
考える日農 PJ

東京家政大学

ワークライフバランス
in 農業女子PJ

フマキラー(株)

「素敵・未来・ガーデン」PJ

(株)丸山製作所

“きらめき農業”
応援PJ

(株)三越伊勢丹HD

想いを‘形にする’
伝える・届ける’PJ

(株)桃谷順天館

農業女子の美肌を
応援する共創PJ

(株)モンベル

フィールドウェア
開発PJ

東京農業大学

新たなワークスタイルを
提案するkawaii
農業女子育成PJ

ヤマト運輸(株)

農業女子×クロネコヤマトの
「物流支援を考える」PJ

楽天(株)

「農業女子×ラクマ
農産物取引拡大」PJ

(株)レンタルのニッケン

農業女子的
労働環境改善PJ

(株)ワコール

すごい下着発明部
農学科PJ vol.2



山形大学

地域がはぐくむ未来の
農業女子PJ

これまでの企業プロジェクトの主な成果

ダイハツ工業

女性目線の軽トラックの開発
[H26.9]

- ・カラフルな全8色のボディーカラー
- ・UVカットガラス採用。座席の高さを下げて乗降しやすく



三越伊勢丹

お中元・お歳暮ギフトでコラボ商品を販売 [H26.10~]

- ・お中元・お歳暮ギフトで農業女子の農産物を使用した商品を販売。伊勢丹新宿店でマルシェも実施。



コーセー

紫外線対策など農業での好印象メイクセミナーを実施 [H28.3]

- ・屋外での作業が多い農業女子に向けた「紫外線対策&汗水に強い好印象メイクセミナー」を開催



東洋ハウジング

モデルハウス『na go mi no N-ryo』オープン [H28.5]

- ・土間を採用、農業と生活が両立しやすい間取り
- ・農業女子らしく自然の素材をとりこんだぬくもりの家



ワコール

農作業快適インナー4種を発表 [H28.11]

- ・汗をかいてもむれずに乾きやすい、農作業の動きに対応した下着を開発



コンビウイズ

子ども向け農作業体験 [H29.5~]

- ・保育園児対象に農業女子メンバーの圃場での農作業体験、栄養士・給食スタッフ対象に料理教室を実施





農女子PJ

豊島

廃棄野菜を染料に活用した“着る野菜Tシャツ”を発表 [H29.10]

- ・ 廃棄野菜を染料として活用
- ・ 農業×アパレルの融合で食料廃棄問題の解決を応援



丸山製作所

農業女子の声から生まれた噴霧器『きりり』を発表 [H29.11]

- ・ 背当て背負いバンドを背負いやすく改良
- ・ 希釈倍率表を添付し薬剤の混合量がすぐわかる



楽天

「ラクマ」にて農業女子の野菜・加工品販売 [H29.11~]

- ・ 農業女子の魅力が詰まった特設サイトも開設。ECで顔の見える販売を実現。



農女子PJ × Rakutenラクマ

井関農機

農業女子草刈機『プチもあ』の開発 [H29.12]

- ・ 動画で使用方法等を確認できるQRコードを添付
- ・ サイドクラッチレバーやグリップを操作しやすく改良



モンベル

フィールドレインウェアの開発 [H30.6]

- ・ 農業女子の意見を取り入れた、フィールドウェア・シリーズ初の女性用レインウェアを発売。



カネコ総業

【Lacuno】シリーズ完成 [H30.11]

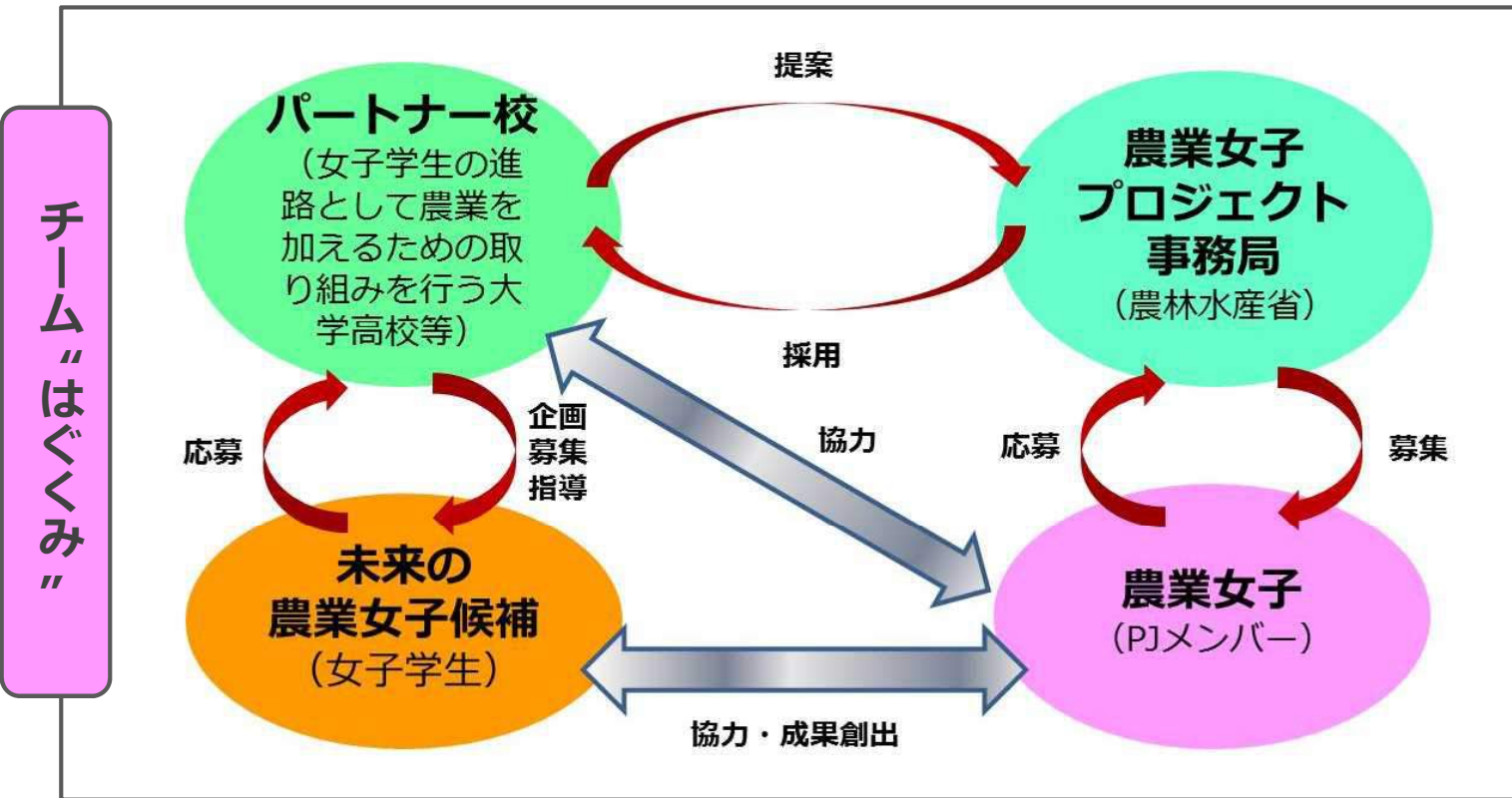
- ・ 手になじみ、作業しやすく疲れにくいらくらくグリップシリーズ「Lacuno」（鎌・鍬・レーキ）の開発。



チーム“はぐくみ”について

農業女子プロジェクトのミッションのひとつである「若い女性の職業選択肢に『農業』を加える」ことを実現していくため、高校・大学等の教育機関によるプログラムと、活躍する農業女子の魅力を結びつけ、農業を志す学生の発掘や動機づけ、意識の向上のための取組を行う「チーム“はぐくみ”」を結成します。

一人でも多くの「未来の農業女子」を育てるため、学生×教育機関×農業女子による新たなチャレンジを展開します。



大学・高校等が活動に参加する学生を募集の上、事務局へ提案。

提案内容を事務局が審査の上、パートナー校として認定。農業女子メンバーを紹介。

提案に基づいて、学校×学生×農業女子により活動を進める。

パートナー校と学生は成果を発表。以降も必要に応じ、事務局及び農業女子メンバーにより活動や進路をフォロー。

職業として農業を選択する未来の農業女子誕生！！

教育機関と未来の農業女子をはぐくむ活動を展開

東京農業大学

- 卒業生である農業女子メンバーが母校で講演
- 農業女子メンバーの農場でのインターンシップや、自治体・参画企業と連携した取組を実施。



産業能率大学倉田ゼミ

- 農業インターンシップも体験しつつ経営学の観点から現場に寄り添ったマーケティングプランを考案。



近畿大学

- 卒業生である農業女子メンバーが母校で講演
- 農業女子メンバーの農場でインターンシップを実施



蒲田女子高等学校

- 普通科の女子高校。キャリア教育の一環として3年前より田植えや収穫後の米の加工、販売等に取り組む。就農した卒業生も。



「農業女子プロジェクト」活動の拡大、発展

- 農業女子メンバーが地域グループを立ちあげ、積極的に活動を展開。
- 農業女子メンバーが香港でフェアを開催。国際会議でも活躍。
- 参画企業が連携したPR活動も実施



地域グループが開催した農業機械セミナー



農業女子が自ら企画し香港フェアを実施



地域グループがマルシェを実施



アグリビジネス創出フェアで参画企業が連携してプロジェクトをPR

G7の会議でプロジェクトの活動をPR

- 
- ① **社会、農業界での女性農業者の存在感を高める**
 - ② **女性農業者自らの意識の改革、経営力の発展を促す**
 - ③ **若い女性の職業の選択肢に「農業」を加える**

引き続き、「**女性が輝く社会**」実現に向けた
全国的なムーブメントの**先端に！**

農業女子PJ

令和元年（2019年）5月9日

山形大学海外拠点を活用したグローバル化の推進について

【本件のポイント】

- これまでに「学生大使」派遣プログラムにより、海外拠点に本学学生を延べ419人派遣。昨年度は5つの海外拠点に合計100人を超える学生を派遣。
- このプログラムに参加した学生には、交換留学等、長期の留学を考える動機を与えている。



【概要】

山形大学では、海外拠点としている大学に、「学生大使」として学生を派遣するプログラムを平成 24 (2012) 年度から実施しています。学生は、現地の学生等を対象に、日本語を教えながら日本文化や山形大学の紹介を行うことを通じて外国人との対話を深め、異なる文化と精神性への対応力を身に付けます。2 週間から 1 ヶ月程度の短期派遣留学であり、海外に興味がある学生のみならず、留学への一歩を踏み出せない学生に対しても参加しやすいプログラムとなっています。参加した学生の中には、「学生大使」の経験を機に、より長期の留学に踏み出す展開も見られます。また、海外拠点にある日本国大使館からも感謝のお手紙をもらうなど、本プログラムの認知度が高くなっており、各海外拠点で大きく評価されています。

平成 30 (2018) 年度には山形県国際交流人材育成推進協議会の事業の一環として、県内高等教育機関の学生も対象に本プログラムへの参加を募ったところ、他大学の学生 1 名が参加しました。今年度も実施を計画しており、更なる派遣の拡大を通じて、県内高等教育機関で学ぶ学生のグローバル化の推進に貢献したいと考えています。

【「学生大使」派遣プログラムとは？】

目的：本学の海外拠点のあるベトナム（ベトナム国家農業大学）、中国（延辺大学）、インドネシア（ガジャマダ大学）、ケニア（ジョモ・ケニヤッタ農工大学）、ラトビア（ラトビア大学）、モンゴル（新モンゴル学園）の各大学に一定期間、「学生大使」として滞在し、日本語を教えながら日本文化を紹介すると同時に、相手国文化・実情を学びつつ、現地学生との交流を通して「グローバル人材」に必要な能力を習得する。

- 特徴：①他のプログラムでは行けない特徴のある派遣先
②参加期間を自由に設定（2 週間から 1 ヶ月程度まで）できる
③経費補助があり、協定校斡旋の宿舎に泊まることのできるため経費が安い
④現地での送迎など海外拠点でのサポートが常にあるので、安心して参加できる
⑤単位になる（集中講義型のみ）

学生の感想：ラトビアで見たもの、感じたこと全てが新鮮であり、自身の視野を広げられる貴重な経験となった。この経験を今後の学生生活のみならず、人生の中でも活かしていきたい。（H30 年度ラトビア派遣者）

世界各地を自分の目で見たいという気持ちがより一層強まった。自分の力だけで会話を楽しめるように、語学の学習を頑張りたい。（H30 年度ベトナム派遣者）

※過去の「学生大使」派遣プログラム実施報告書は以下の URL から閲覧できます。

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/international/ambassador>

【今後の展望】

山形大学では、今年度、学生大使をはじめとする海外派遣留学生数を 400 人程度（昨年度は 332 人）に増やすことを目標としており、地域の創生と多文化共生社会で活躍できる人材の育成に注力してまいります。また、昨年度に続き、山形県国際交流人材育成推進協議会においても、県内高等教育機関における学生のグローバル人材育成の推進に貢献してまいります。

お問い合わせ

教育・学生支援部 国際交流課 今野 浩美

TEL 023-628-4118 メール rgkokusai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

2019年5月9日

山形国際ドキュメンタリー映画祭30周年を記念して 創造都市やまがた誕生までの120年を振り返る特別展を開催します

【本件のポイント】

- 2019年5月20日から特別展「創造都市やまがた誕生までの120年 The History of Yamagata as the City of Film」（～6月21日(金)）を開催します。
- 山形国際ドキュメンタリー映画祭2019（開催日：10月10日（木）～17日（木））のプレイベントです。
- ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟までの約120年をパネルと実物資料（映写機、古地図、古写真、映画パンフレット）から振り返る展示です。

【展示の趣旨】

山形はしばしば「映画の街」と呼ばれています。他地域には見られない山形独特の映画文化の発展の結果、2017年にはユネスコ創造都市ネットワークの映画部門に日本で初めて加盟を果たしました。加盟にあたっての大きな原動力となった「山形国際ドキュメンタリー映画祭」（1989年から隔年開催）は2019年に30周年を迎えます。

この記念すべき年に、山形と映画との関りを振り返る特別展を開催します。山形に映画がもたらされ、独自の展開を遂げたことを4つの時代区分ごとに画像を用いたパネルと実物資料の展示で紹介します。山形における映画のあゆみを市民や学生に紹介することによって、映像文化創造都市「山形」に対する認識を深めていただくことを目的としています。

【開催概要】

会 期 2019年5月20日(月)～6月21日(金)

休 館 日 土日

(6月1日(土)、2日(日)は開館

11:00～17:00)

開館時間 9:30～17:00

入 館 料 無料

会 場 山形大学附属博物館

主 催 山形大学附属博物館

山形文化遺産活用事業実行委員会

共 催 認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭

山形大学人文社会科学部附属映像文化研究所

後 援 山形市・日本映像学会第45回大会実行委員会

そ の 他 平成31年度文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業

展示構成 1900～1945 映画上映のはじまり

1945～1963 戦後の学校上映、映画館あふれる山形市

1964～1983 市民による映画上映、フォーラム山形誕生

1984～2018 山形国際ドキュメンタリー映画祭 ユネスコ創造都市ネットワーク加盟



七日町旭銀座通り（絵はがき） 1932年頃 山形大学附属博物館蔵

【講演会「山形の映画文化の記憶をたどるー山形市の映画館プログラムを手がかりに」】

講 師 成田雄太（認定 NPO 法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭）

阿部宏慈（山形大学理事副学長・認定 NPO 法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭理事）

日 時 2019年6月4日(火) 17:30~19:10
会 場 ゆうキャンパス・ステーション
募 集 事前申込不要・聴講無料

お問い合わせ 山形大学附属博物館 佐藤琴 TEL 023-628-4930 メール hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

2019年度 山形大学附属博物館特別展

創造都市やまがた誕生までの120年

The History of Yamagata as the City of Film

2019

5/20月 - 6/21金

休館日：土日

(ただし6/1(土)、2(日)は11:00～17:00開館)

会場：山形大学附属博物館

入場無料
FREE MOVIE TICKET



1 長谷川竹葉画 山形県新築之図(部分) 1881年 / 2 Kajo Weekly No.89 1940年
3 七日町旭座前通り(絵はがき) 1932年頃 / 所蔵 1,3 山形大学附属博物館蔵 2 個人蔵

講演会

山形の映画文化の記憶をたどる —山形市の映画館プログラムを手がかりに—

日時 2019年6月4日(火) 17:30～19:10

講師 成田雄太
認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭 職員

阿部宏慈
認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭 理事
山形大学理事・副学長

会場 やまキャンパス・ステーション

事前申込不要・聴講無料

主催：山形大学附属博物館・山形文化遺産活用事業実行委員会
共催：認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭
山形大学人文社会科学部附属映像文化研究所
後援：山形市・日本映像学会第45回大会実行委員会

アクセス

- 山形駅から
- ・東方へ約2km(徒歩約25分)
- ・山形大学専用シャトルバス(時刻表は大学HPに、所要時間約12分)
- ・ベニちゃんバス「東くるりん 東原町先回りコース」で「山大前」下車(所要時間約9分)

お問合せ

山形大学附属博物館
山形市小白川町1-4-12
TEL:023(628)4930 FAX:023(628)4668
hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形からカンボジアへ届けたいこと ～農村部の子どもたちへ、IVY youthの算数教育支援～

【本件のポイント】

- 2010年から現在まで、カンボジアにおける算数教育支援としてオリジナルの算数ドリルの配布を行ってきました。
- 国内でのミーティングにおいて支援内容を議論し、持続可能なものとなるよう努めています。
- カンボジアの子どもたちや先生のニーズに合わせた活動をする事で、学習環境がより良くなるように期待します。



【概要】

IVYyouth は、認定 NPO 法人 IVY の下部組織として 2010 年から活動しています。カンボジアでは教科書がボロボロであったり、1 人 1 冊の教材を持つということが未だに当たり前ではありません。また、カンボジアでは小学校の頃から留年制度が存在するため、少なからず留年してしまう子どもたちがいます。

私たちはカンボジアの農村部の留年・退学者数が最も多い地域で、9つの小学校への支援をしています。現在、この9校に対して、2020年春までに“留年・退学者数を減らす”というゴールを掲げ、算数ドリルの配布と先生が主体となる学習会を行っています。カンボジアの教科書は子どもたちが理解するには難しく、内容が詰め込まれたものとなっているため、教科書の補助として、また先生が授業を進める手助けとなるように算数ドリルを作成しています。学習会は、算数が苦手な子どもたちを先生がフォローアップできるような授業の改善を試みるためにいきます。さらに、留年してしまう子どもたちを減らす対策を先生自身で取れるようにという狙いもあります。

カンボジアの子どもたちのために現地の先生方と協力し合って、活動に励んでいます。

【背景】

カンボジアでは小学校の頃から留年制度が存在します。算数を苦手とする子どもたちが多いため、算数のテストの合格点が足りず、留年してしまう子どもたちが少なからず存在します。そのため、小学校を卒業できず、将来の選択肢の幅が狭まってしまうという可能性が考えられます。この現状を改善するため、私たちは子どもたちが“将来を自由に選択できる社会”を目指して活動しています。

カンボジアでは大半が農業で生計を立てており、農業技術の向上には算数の知識が影響するため、私たちは算数に特化した教育支援を行うことに決定しました。また、売買や収入・支出などの経済活動において自分自身に不利益がないようにするという事も挙げられます。

【活動内容】

カンボジアの農村部で、留年・退学者数が最も多い地域（コンポントム州プラサットバラン郡）の小学校9校への算数教育支援（オリジナルの算数ドリル作成、現地の先生とのミーティングや学習会の実施など）

【今後の展望】

2019年夏にもカンボジア夏渡航を予定しております。次回渡航へ向けて、私たちはミーティングを行っていますが、課題がたくさんあり、どのように改善していけばいいのか常に悩みながら活動しています。夏渡航へ向けて、メンバー全員で議論し合いながら、カンボジアの子どもたちと先生のニーズに沿えるよう、努力していきたいと思っております。

お問い合わせ: IVYyouth (橘・富樫)
メール: ivy_youth@yahoo.co.jp

IVYyouth

～カンボジアプロジェクト事業について～

IVYyouthとは

- ・ 認定NPO法人IVYの下部組織として2010年から現在まで活動
 - ・ カンボジアの小学生へ算数教育支援
 - ・ 山形大学におけるメンバーは人文社会科学部／地域文化教育学部／農学部／工学部
全13名
- その他東北学院大学・東北大学のメンバーも所属

活動内容

算数教育支援

- ・カンボジアでは主要産業が農業で、農業において算数を用いるため基礎学力の向上を目指す
- ・学習環境／教材不足の改善
- ・算数の成績不振が原因で、留年してしまうため
- ・オリジナルの算数ドリルの配布



国内でのミーティング

- ・どのような支援が適切であるのか
- ・算数ドリル作成へ向けたミーティング
- ・カンボジア渡航での調査内容

活動実績

2010~2017

- ・学習環境が整っていなかったため、基礎学力の向上を目指す

→スヴァイリエン州で約10000冊の算数ドリル配布完了

2018~現在

- ・コンポントム州プラサットバラン郡の留年・退学者数が最も多い9校への支援
- ・現地の先生とのミーティング
- ・先生が主体的に留年者を減らす対策を取るよう促す
- ・算数ドリル配布

カンボジア州区分地図



活動実績

2010~2017

- ・ 学習環境が整っていなかったため、基礎学力の向上を目指す

→スヴァイリエン州で約10000冊の算数ドリル配布完了

2018~現在

- ・ コンポントム州プラサットバラン郡の留年・退学者数が最も多い9校への支援
- ・ 現地の先生とのミーティング
- ・ 先生が主体的に留年者を減らす対策を取るよう促す
- ・ 算数ドリル配布

カンボジア州区分地図



カンボジア渡航の様子



算数ドリル配布



先生が主体となる学習会



先生とのミーティング



子どもたちとの触れ合い

活動資金

- ・ クラウドファンディングへの挑戦

→4回の成功

- ・ その他助成金の獲得

- ・ 街頭募金の実施



その他の活動

- ・ 国際問題／環境問題について考えるワークショップ

令和元年(2019年)5月9日
山形大学

*詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 公開講座「冷戦の縁^{ふち}：時代と空間の区分を考える」の受講生を募集

6月17日（月）～26日（水）までの5回にわたり開講する人文社会科学部の公開講座です。

冷戦という時代構造と空間構造について、ロシア、ヨーロッパ、アジアの歴史や文化を専門とする教員たちとともに考えます。

日 時：6月17日(月)～6月26日(水)、18時30分～20時10分（計5回）

場 所：山形大学人文社会科学部1号館1階103教室

対 象：一般市民・大学生・高校生 定員30名

受講料：一般2,000円 ※大学生・高校生無料

募集期間：5月14日(火)～6月3日(月)

2. 「スライムマイスター養成講座（初級）」を開催 ～スライムの楽しさを子どもたちに教えませんか～

子供たちに人気のスライムの原理や科学知識、作成方法、子どもたちへの指導方法が学べる講座を開講します。すべての講座を受講した方は、スライムマイスター（初級）に認定されます。

開催日時：6月15日(土) 9時～16時

開催場所：山形大学S C I T Aセンター

受講料：700円



この講座はゆとり都カレッジに参加しています。

冷戦の縁

ふち

場所
山形大学人文社会科学部
1号館1階103教室

対象
一般市民・大学生・高校生
定員30名

受講料
一般 2,000円
大学生・高校生は無料

募集期間
2019年5月14日(火)
～6月3日(月)

時代と空間の
区分を考える

令和元年
6/17 月
|
26 水
講義時間一毎回
午後6時30分～8時10分(計5回)

- 第1回 6.17 [月] 冷戦・冷戦後・ポスト冷戦後、あるいは戦後 — ロシアと日本の70年 — 准教授(人文社会科学部) 天野 尚樹
- 第2回 6.19 [水] エルベ川の向こう岸から考える — 中世の「ヨーロッパ統合」と冷戦後世界 — 教授(人文社会科学部) 山崎 彰
- 第3回 6.21 [金] 冷戦下の日韓関係 — 現在への示唆 — 東北学院大学教養学部 准教授 松谷 基和
- 第4回 6.24 [月] 抗日と親日の間 — 冷戦下の台湾社会における「日本」イメージの変遷 — 准教授(人文社会科学部) 許 時嘉
- 第5回 6.26 [水] 座談会 — 冷戦の世界史に向けて — 教授(人文社会科学部) 伊藤 豊 准教授(人文社会科学部) 今村 真央

対象
募集期間
受講料
お申し込み方法
お問い合わせ先
会場案内
その他

一般市民・大学生・高校生 30名
令和元年5月14日(火)～6月3日(月)
2,000円(大学生・高校生は無料)
下の「払込取扱票」に記入の上、受講料の振り込み手続きをしてください。
通信欄には、職業、年齢を記入してください。先着順に受け付け、受講証をお送りします。
なお、大学生・高校生は、メールあるいは電話で、住所、氏名、電話番号、年齢を下記の
お問い合わせ先にご連絡ください。

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12
山形大学小白川キャンパス事務部総務課総務担当(人文社会科学部)
TEL:023-628-4205 E-mail:jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学人文社会科学部/
1号館1階103教室

大学正門に入って正面の建物です。
受付は人文社会科学部玄関にて行ないます。



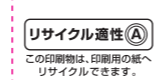
【公共交通機関ご利用のお願い】
現在、山形大学小白川キャンパスでは、駐車場が非常に手狭になっております。公開講座当日はできるだけ公共交通機関、または本学シャトルバス(山形駅～小白川循環・料金100円)のご利用をお願いいたします。

シャトルバス運行時刻表
<http://www.yamagata-u.ac.jp/jp/life/etc/bus> 参照
なお、山形駅行き最終便は18:40発となっております。
また、山交バス県庁前▶山形駅前行きの最終便は、南高前バス停19:42発、山形～仙台間高速・都市間バス山形駅行き最終便は、南高前バス停23:24発です。

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ご注意
この払込書は、機械で処理しますので、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

この場所には、何も記載しないでください。



冷戦の縁

時代と空間の区分を考える

ベルリンの壁が崩壊してからちょうど30年がたちます。1989年11月10日のあの象徴的な出来事を記憶されている方も多いでしょう。あの壁は、何を分けていたのか。ベルリンの壁に象徴される冷戦体制は、世界をさまざまに区分していました。資本主義世界と社会主義世界があり、東と西がありました。第三世界があり、北と南がありました。モダンがあり、ポストモダンがありました。革命があり、独裁があり、解放がありました。豊かさがあり、貧しさがあり、暴力があり、平和がありました。

歴史と現在を、日本と世界を、時空間をまたいで日々研究し、教育する教員が人文社会科学部にはそろっています。本講座では、他大学からのゲストも交えて、冷戦という時代構造と空間構造を、歴史的射程から、また、ヨーロッパとアジアから、みなさんとともに考えたいと思います。世界史と自分の歴史がシンクロし、現在と未来の姿が見通せるような時間をともに過ごしてみませんか。



第1回 6.17 月

冷戦・冷戦後・ポスト冷戦後、あるいは戦後
— ロシアと日本の70年 —
准教授(人文社会科学部主担当) 天野 尚樹

世界が思想で二分されていた時代を実感して生きてこられた方もいるでしょう。ひとが思想のために生きる、いまとなっては遠い昔のことのような気もします。そんな冷戦とはどんな時代だったのか、冷戦が終わったとはどういうことなのか、そしていまはどんな時代なのか。また、冷戦という時代は、日本にとっては「戦後」と並行していたはずですが。冷戦後あるいはポスト冷戦後の時代といわれる現在、日本の「戦後」は終わったのか。冷戦構造の一方の主役であるロシア(ソ連)と日本を軸に考えます。



第2回 6.19 水

エルベ川の向こう岸から考える
— 中世の「ヨーロッパ統合」と冷戦後世界 —
教授(人文社会科学部主担当) 山崎 彰

ヨーロッパの生みの親は誰かと問われれば、「フランク帝国カール大帝」と多くの欧州人は答えるでしょう。しかしフランク帝国が作り出した「原ヨーロッパ」はエルベ川の西岸までで、東側がヨーロッパ世界に統合されたのはその後です。最初は、西側以上に純粋なヨーロッパ社会が移植されますが、現実には厳しく徐々に東西の乖離は進みます。何だか冷戦後30年間に、エルベ川の東岸(旧東欧社会主義圏)で起こっていることとよく似ていませんか?ヨーロッパの断層線としてのエルベ川と、東西間の関係を中世までさかのぼって考えます。



第3回 6.21 金

冷戦下の日韓関係
— 現在への示唆 —
東北学院大学教養学部准教授 松谷 基和

過去半世紀の間、日韓関係は紆余曲折を経ながらも確実に深化してきました。しかし、近年両国の関係は急速に悪化し、国交正常化以来、最悪とも言われる状況になっています。本講義では、冷戦を背景に形成された戦後の日韓関係が、冷戦崩壊後にどのような変化を遂げ、またそれが現在の日韓関係にどのような影響を与えているのか、歴史的視野に立って振り返って考えてみます。

世界史と自分の歴史がシンクロし、
現在と未来の姿が見通せるような時間を。



第4回 6.24 月

抗日と親日の間
— 冷戦下の台湾社会における「日本」イメージの変遷 —
准教授(人文社会科学部主担当) 許 時嘉

1949年から1987年まで台湾では、国共内戦及び東西冷戦を背景にして、長期戒厳令を通して国民党の権威主義的政治体制が発足しました。国民党政府は、一早く統治権威を確立するために、かつて日本の被植民者だった台湾人民に中国化教育と抗日史観を徹底的に導入し、急進的な脱日本化を行いました。一方で台湾と日本は、冷戦下の資本主義陣営に属する同胞として友好関係を継続し、文化面、経済面の交流が続きました。日台の政経関係が錯綜する冷戦期において台湾社会で「日本」はいかに語られていたのでしょうか。本講演は冷戦下の文芸・文化状況から台湾社会での「日本」イメージの移り変わりを考えます。



第5回 6.26 水

座談会 — 冷戦の世界史に向けて —
司会：教授(人文社会科学部主担当) 伊藤 豊
准教授(人文社会科学部主担当) 今村 真央

冷戦は、米ソ間の対立を軸としたグローバルな現象となりましたが、地域によって異なる体験をもたらしました。米ソ間では冷たい戦争であったものの、韓国やベトナムでは「熱い戦争」が起きました。冷戦の世界史は、どのように書かれるべきなのでしょうか。最終回は、ヨーロッパ、ロシア、東アジア、東南アジア、北米での様々な冷戦経験を比較し、冷戦の全体像を模索します。伊藤豊(アメリカ社会史研究)と今村真央(東南アジア研究)が司会を務め、発表者全員による座談会の形で討論します。

02		払込取扱票				通常払込料金 加入者負担	
口座記号番号						金額	
022607		92478		千 百 十 万 千 百 十 円		2000	
加入者名		国立大学法人山形大学		料金		備考	
通信欄		※「冷戦の縁：時代と空間の区分を考える」申込書 ※この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。(人文社会科学部) ○職業をお書きください。() ○年齢をお書きください。() ※払い込み済みの受講料は返金できませんのでご注意ください。 ※個人情報の利用について 提出いただいた書類の個人情報は、本公開講座の参加に関する手続きのみに使用し、第三者に開示・提供・預託することはありません。ただし、ご承諾いただける場合は、今後の公開講座やセミナー様のご案内を本学からお送りする場合がございます。□ 承諾する □ 承諾しない (いずれかをチェック願います)					
ご依頼人		おなまえ		日附印			
おとこ(郵便番号)							
おなまえ							
(電話番号)							
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号仙第8982号)							
これより下部には何も記入しないでください。							

振替払込請求書兼受領証							
口座番号		022607		通常払込 料金加入 者負担			
加入者名		国立大学法人山形大学		金額		千 百 十 万 千 百 十 円	
		92478		2000			
おなまえ				ご依頼人		様	
ご依頼人				日附印			
料金				日附印			
備考							

令和元年（2019年）5月 9日

「スライムマイスター養成講座（初級）」を開催 ～スライムの楽しさを子どもたちに教えませんか～

【本件のポイント】

- スライムに関する化学の知識と小さな子ども達への指導方法を学ぶ講座。
- スライムマイスターの認定を受けると、サイエンス・コミュニケーターとして、子ども達に科学の楽しさを伝える各種イベントや実験教室で活動。
- 今回で16回目。これまでに約200名がスライムマイスターの認定を受け、地域で活躍している。



【概要】

山形大学 SCITA センターでは、子どもたちに科学の楽しさを伝えるサイエンス・コミュニケーター「スライムマイスター」を平成21年度から養成しています。6月15日（土）に、山形大学 SCITA センターにおいて開催する「スライムマイスター養成講座」では、子供たちに人気のスライムの原理や科学知識、作成方法、子どもたちへの指導方法を修得します。すべての講座を受講した方は、スライムマイスター（初級）に認定され、『科学の花咲かせ隊』*隊員として、地域のイベントやボランティアで科学の不思議や面白さを伝える活動を行います。

「スライムマイスター」は、子どもたちの科学への興味を深めるために、スライムを通して理科離れに歯止めをかけようと、やまがた『科学の花咲く』プロジェクトが養成しているもので、講座の開催は、今回で16回目を迎えます。今まで約200名がスライムマイスターに認定されています。

【講座内容】

- 開催日時 : 令和元年 6月15日（土） 9時～16時
開催場所 : 山形大学 SCITA センター（山形市小白川町1丁目4-12 山形大学小白川キャンパス）
講座内容 : 山形大学 SCITA センタースタッフとやまがた『科学の花咲かせ隊』スライムマイスターがスライムを使って科学の不思議や面白さ、科学技術を伝える指導者を養成するための講座を開催します。
- ① 「基礎講座」：スライムの基本を学びます。
 - ② 「化学実験安全講座」：実験で使用する化学薬品の毒性、取り扱いを学びます。
 - ③ 「実験指導講座」：子どもへの指導方法、指導上の注意点を学びます。
 - ④ 「実験講座」：実際に各種のスライムの作成法を学びます。
 - ⑤ 「指導実施講座」：実際のイベントに参加します。

【申込方法等】 チラシ裏面の申込書により5月31日までに申し込んで下さい。（定員20名/応募多数の場合抽選）
受講料700円

※ SCITA センターでは、「科学の花咲く」プロジェクトとして、科学が文化として地域社会に根付くよう県内各地域、各分野の大学、科学館、研究機関、教育関係者などの連携による科学技術理解の活動充実や活発化、サイエンス・コミュニケーター養成をすすめています。養成されたサイエンス・コミュニケーター（スライムマイスター、クラゲマイスター、蔵王マイスター、月山マイスター）たちは、『科学の花咲かせ隊』として地域や家庭で科学の不思議さや面白さを教えるイベント等で活躍しています。

お問い合わせ

山形大学 SCITA センター（棚井）

電話 023-628-4517

E-mail scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

第16期

スライムマイスター 養成講座（初級）のご案内

スライムマイスター養成講座（初級）とは？

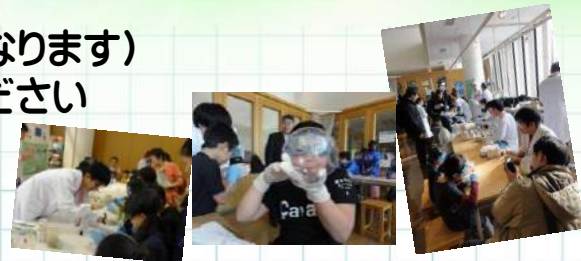
スライムに関する化学の知識と小さな子どもたちへの指導方法を学び、スライムの楽しみ方をみんなに教えるのがスライムマイスター（初級）です。地域のイベントや、ショッピングモールで指導したり、一緒に遊んだり、地域のボランティアとして活動してみませんか？子どもの「できた！」笑顔にたくさん出逢える活動です。スライムに興味がある方はもちろん、子どもが好きな方もぜひご参加ください！

日時

2019年

6月15日（土） 9:00-16:00

- 会場：山形大学SCITAセンターおよび各イベント実施会場（下記記載）
- 受講料：700円（テキスト代・傷害保険料）
- 定員：20名（応募者多数の場合は抽選になります）
- 申込み方法：裏面受講申込書をご提出ください
（メール、電話、FAX、対応可）
- 申込み締切：5月31日（金）



6月15日
（土）

時間	講座名	講座内容
9:00～9:10	やまがた『科学の花咲く』プロジェクトについて	
9:10～10:10	基礎講座	スライムとは？
10:20～10:50	化学実験安全講座	実験で使用する化学薬品の毒性、取扱方法
11:00～11:30	実験指導講座	子どもへの指導法及び注意点
12:30～16:00	実験講座	のび～るスライム、スライム風船他

指導実施講座（下記イベントに1回以上の参加が必須となります。※イベントの変更・追加あり）

開催予定日	イベント名	イベント会場
7月28日（日）	青少年のための科学の祭典in山形	霞城セントラル
8月10日（土）	夏だ！科学体験教室	鶴岡エスモール
11月24日（日）	科学で東北を盛り上げ隊！@石巻	遊楽館（石巻市）

2019年度
スライム
イベント

お問い合わせ

やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター

TEL・FAX:(023)628-4517

E-mail:kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

HP : <http://www.yamagata-u.ac.jp/scita/chiiki/>

第16期

スライムマイスター 養成講座（初級）受講申込書

受講申込締切 2019年 5月31日(金)

ふりがな 氏 名	性別	生年月日 年 月 日	所属機関・職名
住 所		連絡先	
〒		Tel.	
		FAX	
		E-mail	

応募動機・マイスターを取得したらやってみたいこと

今回の養成講座は何で知りましたか

市報、フリーペーパー、知り合いの紹介 など

スライムって何だろう？
ちょっと勉強してみたい！
自分の子どもに教えたい！
子どもの笑顔を見るのが好き！
という方も大歓迎です！！

※6/15(土)の講座終了後、指導実施講座(スライムイベント表面記載)に参加し、「マイスター活動報告書」を提出して頂きます。6/15の養成講座を受講し、スライムのイベントに5回以上参加し、活動報告書を提出した方は「スライムマイスター上級」の受講資格を取得できます。

お問い合わせ

やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター

TEL・FAX:(023)628-4517

E-mail :kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

HP : http://www.yamagata-u.ac.jp/scita/chiiki/